

「インター-KX内訳書概況書」様式改正対応版 概要(Ver.10.0)

「インター-KX内訳書概況書 Ver.10.0」での対応内容をご案内します。

1. データの利用について

データ移行対象バージョン・・・Ver.7.0/7.01

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

2. 改正内容

電子申告等の導入に伴い、法人事業概況説明書の様式が、これまでの業種区分に応じた様式（12種類）から共通様式（1種類）に改訂されました。

その他、以下の項目につきましても、記載方法などの見直しが行われました。

- ・電子計算機の利用状況等の記載方法の見直し
- ・同族会社の場合の「代表者に対する報酬等の金額」欄の追加 等

改訂時期

平成16年4月決算法人分から新様式に改訂されます。

3. システムの変更内容

法人事業概況説明書を新しい様式で入力・印刷するように変更します。

その他次の変更を予定しています。

内訳書への元号入力欄の追加

次の内訳書の各項目に、元号の入力欄を追加します。

- ・「固定資産の内訳書」の「売却物件の取得年月」
- ・「土地の売上高等の内訳書」の「売上商品の取得年」

地代家賃等の内訳書への支払対象期間の日付入力欄の追加

「-1 地代家賃等の内訳書」の「支払対象期間 開始/終了」欄に、日付の入力欄を追加します。

概況書裏面「15.月別売上高等の状況」欄の項目名入力欄の移動

概況書裏面の「15.月別の売上高等の状況」欄で、項目名の入力欄を6/8画面下部から7/8画面上部に移動します。

内訳書 項目データ設定画面の金融機関名の見直し

内訳書項目データ設定画面で、金融機関名の見直しを行います。